

<教育論文の応募者様>

教育論文の応募ありがとうございます。
応募に当たっては募集要項をよく見ていただき、下記のこと注意到意して応募をしてください。

記

1 応募の仕方

送信するデータは、①応募票、②応募チェック表、③論文の3種類（添付資料がある場合は「④添付資料」を含めて4種類）に分けてください。

①応募票、②応募チェック表、③論文、④添付資料をこの順番で一つのPDFにしてください。

2 応募規定の厳守

毎年、表に示すような規定外になる論文が見られます。

規定外論文の状況

年度	応募数	規定外	規定外の内容
令和6年度	123点	7点	・単元の指導計画、本時の指導等 示し方不適切 ・ページ数不足 ・空白が多く、字数が大幅に足りない。 ・資料不適切(11点以上、A4 1枚を越えている) ・無駄な空白行が多い。
令和5年度	158点	15点	・弘済会と同じものを出している 5点 ・指導案(指導計画を含む)が1ページを超えている 4点 ・資料が多すぎる 4点 ・字数やページ数が不足している 1点 ・応募の趣旨に合致していない 1点
令和4年度	161点	9点	・指導案(指導計画を含む)が1ページを超えている 3点 ・字数やページ数が不足している 3点 ・資料が多すぎる 2点 ・応募の趣旨に合致していない 1点

令和3年度	148 点	23 点	・応募の趣旨に合致していない 2 点 ・本文内の資料が 10 点を超えている 7 点 ・指導案(指導計画を含む)が 1 ページを超えている 6 点 ・文字数が多い(46 文字)1 点、少ない(38 文字) 4 点 ・行数が多い(53 行) 1 点 ・ページ数不足(10 枚) 1 点 ・弘済会と同じものを出している 1 点
令和2年度	112 点	9 点	・資料が多すぎる 3 点 ・指導案が多すぎる 2 点 ・本文の枚数不足 2 点 ・行数が多すぎる 1 点 ・弘済会と同じもの 1 点

- ・資料が多すぎたり、指導案や指導計画を 1 ページ以上入れたりする論文が目立ちます。
- ・指導案全文を資料とする場合は別添資料としてください。
- ・資料の掲載については次の例を参考にしてください。

例 1

A 4 判全面使用

資料 1 《研究の構想図等》

※ 研究の構想図は、一般的に A 4 判全面を活用している例がみられる。

※ A 4 判内で処理する。

例 2

写真一枚添付

資料 2 《授業風景》

写真

※ A 4 判内で処理する。

例 3

写真二枚添付

資料 3 《授業風景》

写真

写真

※ 資料 3 として、写真 2 枚提示。
この場合は、なぜ 2 枚必要か問われる。
※ A 4 判内で処理する。

例 4

感想文添付

資料 4 《6 人分提示》

A 男	B 女	C 男
感想文	感想文	感想文
D 女	E 男	F 女
感想文	感想文	感想文

※ 資料 4 として、感想文 6 人分提示
この場合は、なぜ 6 人分必要か問われる。
※ A 4 判内で処理する。

例 5

アンケート添付

資料 5 《6 項目提示》

A 項目	B 項目	C 項目
アンケート	アンケート	アンケート
D 項目	E 項目	F 項目
アンケート	アンケート	アンケート

※ 資料 5 として、アンケート 6 項目提示。
この場合は、なぜ 6 項目必要か問われる。
※ A 4 判内で処理する。

例 6

グラフ添付 作品添付

資料 6

一点添付	一点添付
グラフ	作品

※ A 4 判内で処理する。

* 応募チェック表を活用し、規定外論文にならないようご注意ください。

3 審査について

提出された論文は茨城県教育研究会の正副部長１３２名で一次審査を行い、その後茨城県教育委員会義務教育課指導主事２０名で二次審査を行います。審査の基準は下記の通りです。

茨城県教育研究会

論文番号()		部門()			
氏名					
審 査 基 準			評 点 (5 点 法)		
1 主題に対し，研究の進め方は適当か					
2 確かな論拠に基づき，論旨は明確か					
3 内容に独創性があるか					
4 実践(研究)の積み上げがあるか					
5 教育上または研究上の利用価値はあるか					
6 論文の体裁はどうか 論文の構成，制限枚数，誤字脱字 資料，参考文献など					
計					
合計					
備考					
審査員 氏名					